

エゴノキ、茅、雁皮、楮、
ミツマタ、油桐。
身近にあるかもしれない、
そんな植物を、里山に探し
に行きませんか。

アブラギリシンポジウム 2026

里山に入ろう ～恵みと活用～

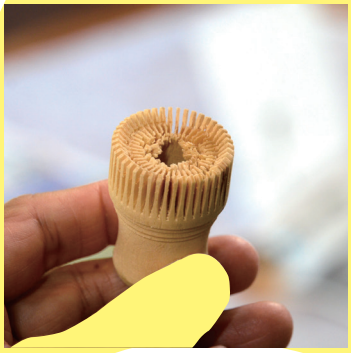
11/29
（日）13時～

入場無料
若狭歴史博物館講堂













主催：若狭コロビプロジェクト・福井県里山里海湖研究所　後援：環境省中部環境パートナーシップオフィス（EPO中部）、小浜市

【お問い合わせ】　福井県里山里海湖研究所（担当：樋口）　Tel：0770 - 45 - 3580　Mail：j-higuchi-rd@pref.fukui.lg.jp

若狭コロビプロジェクトは、若狭地方で群生して厄介ものとされているアブラギリ（ころび）の活用を目指して活動しているグループです。始まりは2011年に若狭東高校の生徒が自然塗料としての桐油に着目したことでした。そこから15年体制を変えながらも活動は継続され、アブラギリシンポジウムも小さく開催されてきました。

今回は、茅、雁皮、楮、ミツマタなど、自然から得られる素材を資源として復活させる取り組みについて皆様に知ってもらいたいと思い「里山に入ろう～恵みと活用～」と題して企画しました。

里山活動は、だれもが参加し、日常から離れて活動する楽しみがあり、収穫の喜びがあり、経済的な生産活動だけではない楽しさがあるはずです。

今回のシンポジウムでは、それぞれの活動のきっかけや、現在の取り組み、課題などを発表し、皆様と共有したいと考えています。

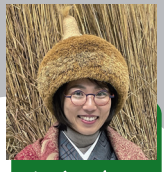
スケジュール

12:30　開場・受付開始
13:00　開会あいさつ
13:05　基調講演『エゴノキプロジェクトと、森林文化アカデミー・技の環の取り組み』　久津輪 雅
13:50　里山資源事例紹介１　福井で茅を刈り始めました　山本 恵　（元・福井県地域おこし協力隊）
14:05　里山資源事例紹介２　古文書修復と和紙原料生産　多仁 照廣　（若狭路文化研究所所長）
14:20　里山資源事例紹介３　研磨炭とその素材　木戸口 武夫　（研炭製造選定保存技術保持者）
14:35　里山資源事例紹介４　若狭コロビPJの取り組み　中嶌 阿児　（NPO若狭くらしに水舎）
14:50　（休憩、質問収集）
15:00　パネルディスカッション「里山資源の活用」
　　登壇者　久津輪 雅・山本 恵・多仁 照廣・木戸口 武夫・中嶌 阿児
　　コーディネーター　阪野 真人（一般社団法人SwitchSwitch）
15:30　終了

ゲスト登壇者紹介



久津輪 雅　1967年生まれ。2006年より岐阜県立森林文化アカデミーで木工教員として勤務。岐阜和傘、長良川鵜飼に使われる鵜飼舟や鵜籠など、岐阜県内の伝統技術の後継者育成や原材料の確保に尽力。和傘部品「傘ロクロ」の原料エゴノキを確保する取り組み「エゴノキプロジェクト」は第5回三井ゴールデン匠賞を受賞。2024年より一般社団法人 技の環を設立し、代表理事に就任。



山本 恵　元・福井県地域おこし協力隊。SNS「ふくい文化財かわらばん」で、県内の文化財や修理現場、伝統技術などの取材・発信に取り組む。



多仁 照廣　元・敦賀短期大学教授。旧菅浜小学校を使用して、若狭路文化研究所を創設。歴史民俗研究のほか、自ら古文書修復も手掛ける。



木戸口 武夫　漆・金属工芸製作、文化財修復においてなくてはならない研磨炭を守り伝える製炭師。2024年に選定保存技術保持者に認定される。

会場案内

入場無料
事前申込不要

福井県立若狭歴史博物館　講堂
（正面入口より、右手にお進みください）
〒917-0241　福井県小浜市遠敷2丁目104
JR小浜線　東小浜駅から徒歩５分
舞鶴若狭自動車道　小浜ICから車で約５分

